

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	(特になし)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>各学部、基礎教育センター等から選出された委員で構成するFD委員会を設置(委員長は基礎教育センター長)。学部・系にも、それぞれのFD委員会(部会)を設置。</p> <ul style="list-style-type: none">・FD委員会規程(添付資料参照) <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>全学のFD委員会は、原則として毎月第4木曜日に開催。平成17年度は10回、平成18年度は11回、平成19年度は11回開催。</p> <p>19年度は、各学部等から選出された11名の教員(委員長を含む)が参加しており、活動に関連する教務委員会委員長等もオブザーバーとして参加している。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成19年度FD委員会活動状況 <p>(添付資料参照)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>授業評価やFDセミナーの実施に関することなどを審議するとともに、授業評価等を受けた教育改善点のとりまとめや授業改善に資する参考事例の共有化についての検討を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none">・平成19年度FD委員会活動状況 <p>(添付資料参照)</p>
--

実施状況

a 実施内容

【FDセミナー等】

- ・FDセミナーやFD講演会等（17年度3回、18年度3回、19年度3回）を開催
- ・19年5月には、主に新任教職員を対象にした、宿泊セミナーを実施（FD及びSD）

【FDレポート】

- ・上記セミナーの内容等を掲載した「FDレポート」を年2回発刊し、Web上でも公開

【授業評価アンケート】

- ・全学の基礎・教養科目については、FD委員会が学生及び授業担当者対象のアンケートを実施。

b 実施方法

- ・FD委員会が企画を行い、FDセミナーの開催やFDレポートの発行を実施。
- ・FDとSDを同時開催した、宿泊セミナー（19年5月）では、FD委員会と事務局（人事担当）が共同して実施
- ・授業評価アンケートについては、全学の基礎・教養科目のカリキュラム等を担当する教務委員会基礎教育部会と共同実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・19年度のFDセミナーや授業評価の実施状況については、「平成19年度FD委員会活動状況」（添付資料参照）に記載

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組み

授業評価アンケート等の結果については、FDセミナー、FDレポート等で全学に報告するとともに、授業ごとの集計結果は授業担当者にフィードバックして改善を図った。その他、アンケートで出された意見等を踏まえ、時間割、クラス編成、シラバス、授業内容等の改善を実施した。

平成19年度 F D委員会活動状況

表1. 全学FD委員会の開催

	開催日	議 題
第1回	H19.4.26	・18年度SE等を受けた教育改善点報告について ・今年度のスケジュール確認について 他
第2回	H19.5.24	・平成19年度SE・TE調査票の検討について 他
第3回	H19.6.28	・19年度SE・TEの実施について ・FDレポート第5号の目次案について 他
第4回	H19.7.26	・第5回FDセミナーについて ・後期授業評価の実施科目について 他
第5回	H19.9.27	・平成19年度SE・TEの結果報告について ・後期SE・TEの実施計画について 他
第6回	H19.10.25	・FDレポート第6号の企画について ・第6回FDセミナー企画について 他
第7回	H19.11.22	・後期SE・TE調査票の検討について 他
第8回	H19.12.19	・第6回FDセミナー企画について 他
第9回	H20.1.24	・後期授業評価およびFDレポート第6号の進捗状況について 他
第10回	H20.2.22	・平成19年度の教育改善点の調査について ・FDの今後の課題および次期委員会への引継ぎ事項について
第11回	H20.3.19	・後期授業評価の進捗状況について ・FDの今後の課題および次期委員会への引継ぎ事項について 他

表2. 授業評価の実施

調査科目	回答者	実施時期	回収結果
基礎ゼミナール (前期)	学生	H19.7.9～7.23	78クラス中66クラス(回答者 1,296名)
	教員	H19.7.9～7.23	78名中63名
情報リテラシー実践 (前期)	学生	H19.7.9～7.23	38クラス中38クラス(回答者 1,495名)
	教員	H19.7.9～7.23	43名中39名
情報リテラシー実践 AB (後期)	学生	H20.1.7～2.1	24クラス中24クラス(回答者 541名)
	教員	H20.1.7～2.1	24名中24名
実践英語 [1年次対象] (前期・日本人教員分)	学生	H19.7.31	87クラス中87クラス(回答者 1,572名)
	教員	H19.7.9～7.23	87名中83名
実践英語 [2年次対象] (後期・日本人教員分)	学生	H19.12.21～20.1.23	74クラス中68クラス(回答者 1,119名)
	教員	H19.12.21～20.1.23	74名中67名
都市教養プログラム (前期)	学生	H19.7.9～7.24	72科目中66科目(回答者 延5,313名)
	教員	H19.7.9～7.24	104名中74名
都市教養プログラム (後期)	学生	H19.12.21～20.1.23	70科目中62科目(回答者 延4,320名)
	教員	H19.12.21～20.1.23	92名中60名
理工系共通基礎科目 (前期)	学生	H19.7.9～7.23	62科目中59科目(回答者 延3,418名)
	教員	H19.7.9～7.23	66名中58名
理工系共通基礎科目 (後期)	学生	H19.12.21～20.1.23	57科目中48科目(回答者 延2,282名)
	教員	H19.12.21～20.1.23	62名中48名

表3. 宿泊セミナー、FDセミナーの開催

	開催日	主な内容	参加者数
宿泊セミナー	H19.5.31～ 6.1	・講演(外部講師) 【テーマ】(1)高等教育政策と大学改革 (2)大学と教職員の意識改革	68名
第5回FDセミナー	H19.10.4	・講演(外部講師) 【テーマ】大学院FDと大学院教育改革 ・シンポジウム 【テーマ】首都大学生大学院のこれまでの経験から学ぶ 【情報提供】首都大学東京大学院の「これまで」	62名
第6回FDセミナー	H20.2.22	・講演(外部講師) 【テーマ】成績評価の共通指針:ブラックボックスからの脱却に向けて ・パネルディスカッション 【テーマ】成績評価方法について	60名

表4. TMU FDレポート「クロスロード」の発行(web公開)

	発行日	主な内容
第5号	H19.10.31	・第4回FDセミナー ・2007年度宿泊セミナー ・学外研修参加 ・授業評価(19前期) 他
第6号	H20.3.25	・第5・6回FDセミナー ・学外研修参加 ・授業評価(19後期) 他

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

1 首都大学東京の設置の趣旨・目的

首都大学東京は、「大都市における人間社会の理想像の追求」を使命として、広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究するとともに、大都市の現実に立脚した教育研究の成果をあげ、豊かな人間性と独創性を備えた大都市で活躍する人材を育成し、もって都民の生活文化の向上・発展に寄与することを目的として設置された。

2 平成19年度までの教育研究活動等の主な状況

(1) 特色ある基礎・教養教育の取組

自ら考える力を育てる「基礎ゼミナール」、課題解決能力を育成する「情報リテラシー実践」、「読む・書く・聞く・話す」の実践力を育てる「実践英語」、都市に関するテーマを学際的・総合的に学ぶ「都市教養プログラム」などからなる基礎・教養教育を着実に実施した。

また、大都市の現場に直接触れ、課題に主体的に取り組む能力を育成するため、東京都関係の事業所や民間企業等を受入先とする「現場体験型インターンシップ」も実施している。

(2) FD委員会を中心とするファカルティ・ディベロップメント活動

FD委員会を中心に、学生を対象に授業評価アンケートを行い、実施状況を検証し、結果を担当教員等にフィードバックすることで改善・充実に図るなど、FD活動に力を入れた。

(3) 専門科目を含む学士課程教育の本格化

平成19年度は1期生が3年次まで進み、専門科目を含む学士課程教育が本格化した。各学部では、それぞれの教育研究上の目的に沿って教育を実施するとともに、授業評価アンケートの分析や成績評価基準の明確化など、教育の改善・充実に取り組んだ。なお、平成20年3月には、早期卒業制度により首都大学東京として初めての卒業生を送り出した。

(4) 大学院の再編と大学院教育の充実

新しい大学の理念を踏まえ、平成18年4月から大学院を6研究科21専攻に再編した。「大学院教育改革支援プログラム」に採択された3件のプログラムをはじめ、大学院における教育研究の充実にも力を入れて取り組んでいる。

(5) 研究活動

「都市形成に関する研究」を重点研究分野として設定し、大都市の課題解決に資する研究を進めた。特に、研究成果を都政に還元するとともに現場との関わりによる教育研究の活性化を目指し、東京都との連携研究を推進したほか、アジアの都市の大学と大都市共通の課題について共同研究を行った。合わせて、長期的視野に立脚した研究課題にも着実に取り組んだ。

3 総括評価・所見

開学から3年間、上記のとおり、基礎・教養教育をはじめとする学士課程教育や大学院教育において、設置の趣旨・目的に基づく教育研究活動を着実に展開してきた。

完成年次である平成20年度も、引き続き大学設置の趣旨・目的を達成するための取組を進めていく。

(4) 情報提供に関する事項

設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成19年9月28日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.tmu.ac.jp/university/2494.html>)

設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有)
- b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成19年9月28日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.tmu.ac.jp/university/2494.html>)